

第4期物部川地域アクションプランの進捗状況確認資料

物 部 川 地 域 本 部

令和5年2月2日（木）

物部川地域アクションプランの進捗状況確認資料 (令和4年度第3四半期の実施状況と令和5年度の展開)

令和5年2月2日
物部川地域本部

1 地域アクションプランの令和4年度第3四半期の実施状況と令和5年度の展開（総括）

(1) 総評

令和4年度、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、幅広い分野の事業者が大きな打撃を受けているが、行動制限の緩和等に伴い、観光入込客数等は回復の兆しが見えてきている。一方で、原油価格や物価の高騰が県経済へも影響を及ぼしており、各事業者に対しては、事業の継続や雇用の維持に向けた支援を行うとともに、新しい生活様式を前提とした地域内の消費喚起・観光需要等の回復による地域経済の再生に向けた取り組みを進めてきた。

本地域では、24項目のアクションプランについて、実行支援チームを編成し、各種支援制度の活用などを図りながら、事業推進に向けた協議と進捗管理を行い、目標の達成に向けて取り組みを進めている。

農業分野では、新型コロナウイルス感染拡大により減少していた飲食店向けの取引に回復基調がみられるが、一方で重油や肥料等資材の高騰により経営環境は厳しさを増している状況の中、日本一の生産量を誇るニラやシトウといった地域を代表する施設園芸作物の産地の維持・拡大に向けて、省力化機器の導入や労働力の確保、新規就農者の育成など生産基盤の充実・拡大に向けた多様な取り組みを引き続き推進している。

林業分野では、森林組合や林業事業者が主体となり、原木の増産に向けて高性能林業機械やICT等を活用した労働生産性の向上、皆伐と再生林の促進による森林の循環利用の促進、森の工場の拡大・間伐の推進による施業集約化に取り組んでいる。また、林業大学校と連携した担い手の育成・確保に取り組んでいる。

水産業分野では、香南市でシイラを中心とした水産物の販路拡大の取り組みが進められており、売上アップを目指した衛生管理の向上や生産体制の強化とともに、県外の取引先との取引量の増大や安定的な販路拡大などに取り組んでいる。今年度はシイラ漁がやや復調したことから原材料も安定的に確保できたことに加え、県内の大手量販店との新規取引も始まったことや全国的な高値相場から、売上高も順調に伸びている。

商工業分野では、南国市が(株)海洋堂高知と連携して中心市街地の活性化に取り組んでいる。令和2年度にオープンした「南国市ものづくりサポートセンター」は、企画展やものづくりワークショップの開催による誘客促進により、昨年11月末時点で来館者は11万人を超えており、中心市街地ではこの来館者を取り込むために定期的

にイベントが開催されている。

香美市のIターン移住者による、地域の資源にこだわったクラフトビール製造販売においては、国庫補助金やクラウドファンディングを活用した新工場の整備が進んでおり、来年度からの本格稼働を予定している。

香南市の高知県産ワインの醸造施設では、令和3年8月から県内各地で収穫したブドウによる醸造・販売を開始し、ショップを併設した「のいち醸造所」が昨年4月にグランドオープンしており、ワインやグロサリー等、個性的な商品の販売拡大に取り組んでいる。

観光分野では、新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の大幅な落ち込みを受け、各観光施設等において大きな打撃を被った。

こうした中、(一社)物部川DMO協議会では観光庁事業を受託し、令和2年度に取り組んだユニバーサルビーチ事業に加え、令和4年度は「食のユニバーサル」として訪日外国人需要を見据えたビーガン・ハラルメニューの開発に取り組むなど、物部川エリア全体を「ユニバーサル観光地」としての確立を目指し、取り組みを進めている。また、令和5年春からNHKの連続テレビ小説「らんまん」の放送が予定されているため、これをエリア全体の観光振興に最大限活かすよう、市町村や関係機関と連携しながら取り組みを進める。

その他、新たな観光需要の喚起のために体験型観光も企画し、個人向け体験観光のコンテンツの充実を図るなど、年間を通して観光客を誘客できる商品造成に取り組んでいる。

来年度においても引き続き実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、市、関係機関等と連携し各種支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けて取り組んでいく。

(2) 目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

指標	達成度の基準
S	数値目標の達成率110%以上
A	数値目標の達成率100%以上110%未満
B	数値目標の達成率85%以上100%未満
C	数値目標の達成率70%以上85%未満
D	数値目標の達成率70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

(注) Pの「目標」は、R5は第4期産業振興計画の目標、R2～R4はR5目標に向けての到達目標

分野	項目名及び実施主体	指標及び出発点	【P (Plan)】				R4計画	【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】				
			年	目標	実績	達成度			R4取組状況	現時点の進捗状況						
										R4到達目標に対する現状	達成度(※)		現状分析	R5計画(案)		
農業	1日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト (香南市、香美市) 【実施主体】 ◎・JA高知県(香美地区) ◎・JA高知県(香美地区ニラ部会) ◎・(一社)香南市観光協会 ◎・(一社)香美市観光協会 ・香南市 ・香美市 ・シミズ・アグリプラス(株) ※地域産業クラスター関連(日本一のニラ産地拡大プロジェクト)	ニラ販売額(JA入金額) 23.3億円(R元) ※園芸年度(香美地区)8～7月	R2	29.7億円	23.6億円	C	1 生産上の対策 1)既存農家の経営安定 ・収量向上に向けた個別指導や栽培講習会開催 2)規模拡大農家への支援 ・規模拡大効果の診断 ・規模拡大志向農家の経営実態把握及び分析 ・法人化志向農家への法人化支援 3)新規就農者等への支援 ・就農PR ・親元就農に向けた支援 ・新規就農者の経営改善指導 ・グリーンカレッジ活動支援 ・空きハウス情報の収集・提供 4)そぐりセンターの安定稼働 ・搬入ニラの品質向上 ・そぐりセンター利用拡大 2 流通・販売上の対策 ・集出荷場事業申請支援 ・作業状況の確認及び作業工程改善	1 生産上の対策 1)既存農家の経営安定(12月末) ・収量向上に向けた個別指導:4戸、延べ77回 ・適正施肥・害虫防除の栽培講習会:延べ70名、5回 2)規模拡大農家への支援(12月末) ・規模拡大農家の経営診断の実施:1戸 延べ2回 ・規模拡大農家の法人化意向調査:2戸 ・法人化に向けた支援:延べ4回 3)新規就農者等への支援(12月末) ・親元就農支援制度の周知:1回 175戸 ・新規就農者の経営改善指導:延べ39回 ・グリーンカレッジ研修会:2回 ・空きハウス情報の収集:2回 6ハウス 4)そぐりセンターの安定稼働(12月末) ・そぐりセンター利用説明会:1回 ・利用拡大のための個別巡回:延べ6回 ・そぐりセンター定例会での情報共有:6回 2 流通・販売上の対策 ・土佐山田第二集出荷場の新築工事:7月完成 ・包装機の増設:8月	25.6億円 ・R4目標達成率:86.2% ・対前年同期比:116.9%	B (成果) ・グリーンカレッジ研修会出席者(12月末):8名 ・そぐりセンター新規利用者(12/10時点):9戸 (課題) ・そぐりセンターの安定稼働 (今後の方向性) ・収量向上に向けた個別指導の継続 ・規模拡大農家の経営診断結果に基づく今後の経営指導 ・そぐりセンターへの搬入ニラの品質向上により等級アップに繋げる。 ・市場単価・受入量に応じて、優先項目(品質・仕上り量)を選択しつつ、そぐりセンターでの調製作業を行う。 ・そぐりセンターの安定稼働に向けて周年利用の推進(利用者・量の増加)及び遠隔地からの輸送システムの構築 ・集出荷施設の効率稼働	1 生産上の対策 ・収量向上に向けた個別指導 ・規模拡大農家への経営指導 ・新規就農者の経営改善指導 ・空きハウス情報の収集・提供 ・グリーンカレッジ活動支援 ・搬入ニラの品質向上対策 ・そぐりセンター利用説明会 ・そぐりセンターへの搬入システム構築 2 流通・販売上の対策 ・新集出荷場の効率的運用					
			R3	29.7億円	21.9億円	C										
			R4	29.7億円	25.6億円	B										
			R5	29.7億円												
			R2	98.2万円	0万円	D						1 消費拡大、認知度向上の対策 ・クラスタープランに基づく飲食店、ニラの確保	1 消費拡大、認知度向上の対策 イベント開催17回(延べ30日)(11月末)	14万円(11月末) ・R4目標達成率:14.9% ・対前年同期比:皆増 移動制限の緩和により再開されたイベントがあるものの、まだまだ再開は低調であるため。	D (課題) ・クラスタープランで定めた参加飲食店の増加とニラの確保 (今後の方向性) ・参加店舗の増加に向けて商工会と連携した協力依頼 ・ニラの確保に向けJAとの調整	1 消費拡大、認知度向上の対策 ・クラスタープランに基づく飲食店、ニラの確保
			R3	117.8万円	0万円	D										
			R4	141.4万円												
			R5	170万円												

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画(案)
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
農業	2 南国市農業生産拡大プロジェクト(南国市) 【実施主体】 ◎・JA高知県(土長地区) ◎・JA高知県出資農業生産法人(株)南国スタイル・Aitosa(株)・(株)イチネン農園・(株)トリムエレクトリックマシナリー ※地域産業クラスター関連(南国市農業クラスタープロジェクト)	シントウ生産量 606t (R元) ※園芸年度9～8月	R2	610t	543t	B	1 園芸団地の整備による生産拡大・農業生産法人及び若手農業者の育成 ・Aitosa(株)・若手農業者の栽培支援 ・Aitosa(株)の栽培計画作成支援	1 園芸団地の整備による生産拡大・農業生産法人及び若手農業者の育成 ・ハウス整備後のシントウ生産出荷計画の作成及び栽培支援 栽培支援(11月末):延べ43回 ・Aitosa(株)の栽培計画作成支援 栽培計画打合せ(12月末):延べ2回 ・新規就農者の研修体制整備及び支援(11月末):5戸、延べ54回	528t ・R4目標達成率:88.9% ・対前年同期比:102.5%	B	(成果) ・Aitosa(株)が栽培を開始し、ほぼ計画どおりの年間出荷量となっている。 ・新規就農者の技術向上が見られ、出荷量が安定 (課題) ・出荷調整量の増加によるJA出荷場受け込み量の限界 ・冬の収穫量の向上 (今後の方向性) ・Aitosa(株)の安定出荷のための技術支援 ・収量向上に向けた個別指導の継続 ・出荷場受け込み量の改善	1 園芸団地の整備による生産拡大・農業生産法人及び若手農業者の育成 ・Aitosa(株)・若手農業者の栽培支援 ・Aitosa(株)の栽培計画作成支援 ・Aitosa(株)の2号棟整備に向けた事業計画作成支援
			R3	551t	515t	B						
			R4	594t	528t	B						
			R5	615t								
	ニラ生産量 927t (R元) ※園芸年度9～8月	R2	930t	822t	B	1 調製作業省力化設備の運用状況確認及び支援 ・運用状況の確認及び支援	1 調製作業省力化設備の運用状況確認及び支援 ニラのそぐりセンター(南国そぐりセンター利用組合)の取り組み(そぐりセンターはR3.4.1に設置済) ニラのそぐりセンター(南国そぐりセンター利用組合)は、ニラの安定供給ができず赤字運営を継続せざるを得なくなるため、R4.8月に運用を停止。 【参考】R4.7月末時点 利用組合員数:9名 雇用人数:3名	884t ・R4目標達成率:106.1% ・対前年同期比:104.5%	A	(成果) ・JAと連携した栽培指導の実施等により出荷量が増加 (課題) ・そぐりセンターを利用していた生産者の現状把握 (今後の方向性) ・課題整理と対応策の検討	1 調製作業に係る現状把握及び課題整理、対応策の検討	
		R3	828t	846t	A							
		R4	833t	884t	A							
		R5	839t									
	ピーマン類生産量(ピーマン・パプリカ) 857t (R元) ※園芸年度9～8月	R2	860t	895t	A	1 園芸団地の整備による生産拡大・新規就農者の育成 ・(株)イチネン農園ハウス整備完了(7月) ・ハウス整備後のピーマン生産出荷計画の作成 2 ハウス整備後の栽培計画作成・実施支援	1 園芸団地の整備による生産拡大・新規就農者の育成 ・(株)イチネン農園、南国市、JA高知県、高知県との協定締結(R4.7.13) ・ハウスはR4.7月完成、8月引き渡し 2 ハウス整備後の栽培計画作成・実施支援 ・ピーマンの仮定植開始(9/1～) ・栽培計画作成・実施支援(12月末):7回	952t ・R4目標達成率:107.8% ・対前年同期比:105.8%	A	(成果) ・パプリカの生産量が増加し全体としては目標の出荷量を達成 (課題) ・R4.9月から(株)イチネン農園が1.1haでピーマンの栽培を開始したため、技術支援が必要 (今後の方向性) ・(株)イチネン農園への栽培計画作成及び技術支援 ・パプリカの安定出荷の継続に向けた技術支援	1 園芸団地の整備による生産拡大・新規就農者の育成 ・ハウス整備後のピーマン生産出荷計画の作成 2 ハウス整備後の栽培計画作成・実施支援 ・(株)イチネン農園の安定生産に向けた栽培技術支援	
		R3	876t	900t	A							
		R4	883t	952t	A							
R5		1,101t										
「還元野菜」の栽培協力農家数 6戸 (H27～R元累計)	R2	6戸	6戸	A	1 市内既存農家や組織の生産維持・規模拡大 ・メロン、イチゴ等の生産及び栽培協力農家の拡大 ・栽培管理への助言	1 「還元野菜」の生産拡大 ・イチゴ育苗、栽培管理支援(12月末):7回 ・JA等からの聞き取りによる状況調査(12月末):4回	6戸(12月末) ・R4目標達成率:85.7% ・対前年同期比:100.0%	B	(成果) ・イチゴの栽培技術が向上し、病害虫の被害が軽減 (課題) ・還元野菜栽培協力農家の拡大 (今後の方向性) ・現行栽培農家への助言及び技術支援	1 市内既存農家や組織の生産維持・規模拡大 ・メロン、イチゴ等の生産及び栽培協力農家の拡大 ・栽培管理への助言		
	R3	7戸	6戸	B								
	R4	7戸	6戸	B								
	R5	7戸										

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画(案)
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
農業	3 南国市野菜の地産地消・地産外商の拡大による地域農業の活性化(南国市) 【実施主体】 ◎・JA高知県土長地区出資農業生産法人(株)南国スタイル ◎・南国市 ・JA高知県(土長地区) ・(株)トリムエレクトリックマシナリー ・(一社)南国市観光協会 ・南国市内食品加工事業者 ※地域産業クラスター関連(南国市農業クラスタープロジェクト)	「還元野菜」の売上高 617万円(H30)	R2	638万円	610万円	B	1 「還元野菜」の販路拡大 ・還元野菜のインターネット販売 ・販路拡大に向けた売り込み	1 「還元野菜」の販路拡大 ・還元野菜のインターネット販売 ・販路拡大に向けた売り込み	610万円(12月末) ・R4目標達成率: 90.4% ・対前年同期比: 79.4% 西島園芸団地での販売が大きく減少しているため。	B	(成果) ・南国スタイルでの販売が好調に推移している(対前年同期比: 173.5%) (課題) ・西島園芸団地での販売の大幅な減少(対前年同期比: 26.1%) (今後の方向性) ・今後も現在の販売ルートを維持しつつ、新規ルートの開拓を模索する。	1 「還元野菜」の販路拡大 ・還元野菜のインターネット販売 ・販路拡大に向けた売り込み
			R3	800万円	961万円	S						
			R4	900万円								
			R5	1,000万円								
	学校給食における地元野菜の供給割合(金額ベース) 26.3%(H30)	R2	27.0%	22.1%	C	1 「南国野菜」の地元消費拡大(地産地消) ・まほろば畑の開催(月1回) ・学校給食での地元食材の使用 ・南国市内事業者への野菜配送	1 「南国野菜」の地元消費拡大(地産地消) ・まほろば畑の開催(月1回) ・学校給食への地元野菜の利用を継続して行っている。 ・配送先を南国市内に限り継続している。	23.6%(11月末) ・R4目標達成率: 87.5% ・対前年同期比: 98.4%	B	(成果) ・まほろば畑来客数: 計1,229人(12月末) ・学校給食における地元野菜の供給金額(11月末): 407万円 ・南国市内事業者への野菜配送: 19事業所 (課題) ・まほろば畑は後継者の確保が課題だが、具体的な動きはなく、本人たちは自分たちで15年続けて行くことを目指して頑張っている。 ・地元野菜は天候不順などにより要望があっても供給できないことがある。 (今後の方向性) ・現在の活動を継続していく	1 「南国野菜」の地元消費拡大(地産地消) ・まほろば畑の開催(月1回) ・学校給食での地元食材の使用 ・南国市内事業者への野菜配送	
		R3	27.0%	26.5%	B							
		R4	27.0%									
		R5	27.0%									
	地域資源を活用した新商品数 13品目(H28~R元累計)	R2	4品目	9品目	S	1 「南国野菜」を使った加工品の開発・販売(地産外商) ・南国市中小企業振興事業費補助金(特産品開発)を活用した商品開発 ・クラスター構成団体による商品開発	1 「南国野菜」を使った加工品の開発・販売(地産外商) ・南国市中小企業振興事業費補助金採択件数(1件) ・地域AP事業者、クラスター構成団体による商品開発	15品目(12月末) ・R4目標達成率: 150.0% ・対前年同期比: 115.4%	S	(成果) ・クラスター構成団体による新商品の開発 シントウ味噌(Aitosa(株)) プリスパフェ((株)西島園芸団地) (課題) ・南国市中小企業振興事業費補助金を活用する事業者の固定化 (今後の方向性) ・南国市中小企業振興事業費補助金を活用する事業者の掘り起こし ・地域AP事業者、クラスター構成団体事業者の商品開発の相談対応、支援策の紹介	1 「南国野菜」を使った加工品の開発・販売(地産外商) ・南国市中小企業事業費補助金(特産品開発)を活用した商品開発 ・クラスター構成団体による商品開発	
		R3	8品目	13品目	S							
		R4	10品目									
R5		12品目										

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画(案)
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
農業	4 香美市における「物部ゆず」の総合的な産地強化対策（香美市） 【実施主体】 ◎・JA高知県（香美地区物部柚子生産部会） ・JA高知県（香美地区） ・香美市 ・農地中間管理機構（高知県農業公社） ・NPO法人いなかみ	ユズ販売金額 4.9億円 (H28～R元平均)	R2	4.9億円	4.8億円	B	1 担い手対策 ・新規就農希望者への支援・研修生の就農に向けた支援 ・新規就農者支援 ・親元就農促進に向けた活動 ・就農相談会でのPR活動（12月） ・担い手への園地集積に向けた園地台帳作成（6～3月） 2 流通、販売上の対策 ・冬至玉出荷予測のデータ解析に基づく個票作成指導（10月） ・集出荷場のカイゼン項目の検討・実践、検証（12月） 3 生産向上対策 ・青果率向上技術の指導（4～11月） ・収穫期の労働力確保支援（収穫体験活動）（8～11月）	1 担い手対策 ・新規就農希望者への支援 親元就農希望者1名への支援制度の説明（4月） ・研修生の就農に向けた支援 研修生2名の研修状況、今後の計画の確認（12月末）：12回 ・新規就農者支援 ・親元就農促進に向けた活動 希望者1名への個別支援（12月末）：2回 ゆず便りを活用した親元就農支援制度の周知（6月） ・担い手への園地集積に向けた園地台帳作成 園地台帳作成手法の検討（12月末）：3回 園地情報収集用紙配布：回収率35%（12月末） 2 流通、販売上の対策 ・過去3年間の予測のデータ解析に基づく個票を作成、配布（10月） 3 生産向上対策 ・青果率向上技術の指導 ゆず便りによる適期栽培管理（病害虫防除、果実品質向上対策、施肥等）の指導（ゆず便り4～12月号：9回）	4.5億円 ・R4目標達成率：90.0% ・対前年同期比：100.0%	B	（成果） ・研修生が農家研修を開始1名（4月） ・新規就農1名（11月） （課題） ・研修生受入体制の強化（空きほ場等の情報発信等） ・担い手への園地集積 ・収穫労力の安定確保 （今後の方向性） ・部会での研修生の課題と対応策の明確化及び就農に向けての支援 ・研修生の研修状況確認 ・11月に就農した研修生への支援 ・園地の流動化などによる生産規模の維持・確保 ・基本技術の徹底、計画的な新植、改植等による青果ユズの確保	1 担い手対策 ・新規就農希望者への支援・研修生の就農に向けた支援 ・新規就農者支援 ・親元就農促進に向けた活動 ・就農相談会でのPR活動 2 流通、販売上の対策 ・冬至玉出荷予測のデータ解析に基づく個票作成指導 ・集出荷場のカイゼン項目の検討・実践、検証 3 生産向上対策 ・青果率向上技術の指導 ・担い手への園地集積に向けた園地台帳作成 ・収穫期の労働力確保支援（収穫体験活動）
			R3	4.9億円	4.5億円	B						
			R4	5.0億円	4.5億円	B						
			R5	5.0億円								
			※園芸年度9～8月									
		青果ユズ出荷量 760t (H28～R元平均)	R2	760t	750t	B		724t ・R4目標達成率：94.0% ・対前年同期比：102.1%	B			
			R3	760t	709t	B						
			R4	770t	724t	B						
			R5	770t								
			※園芸年度9～8月									

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画 (案)
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
農業	5「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上 (南国市) 【実施主体】 ◎・(株)なの工房 ◎・畑の食堂Copan ・JA高知県 (土長地区長岡支所)	直販所等の売上高 1億2,533万円 (H30)	R2	1億3,740万円	1億1,192万円	C	【(株)なの工房】 1 組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み ・(株)なの工房株主総会の開催 ・リーダー会開催 2 来客増に向けた取り組み ・SNSでの旬の商品の紹介 ・POP、店舗陳列の工夫の実践継続 【畑の食堂Copan】 1 来客増に向けた取り組み ・旬の農産物を使ったメニュー・加工品の提供 ・SNSを活用した情報発信の継続 ・ディップソースの取引先の拡大	【(株)なの工房】 1 組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み ・(株)なの工房株主総会の開催 (7/19、臨時総会 11/25) 2 来客増に向けた取り組み ・SNSでの旬の商品の紹介 (12月末) : 61回 【畑の食堂Copan】 1 来客増に向けた取り組み ・旬の農産物を使ったメニュー・加工品の提供 (生姜ペース、冷製おでん、ニラ醬) ・SNSを活用した情報発信 (12月末) : 404回 ・ディップソースの取引先の拡大 (12月末) : 20店舗	7,328万円 (12月末) ・R4目標達成率 : 71.1% ・対前年同期比 : 90.0% 生産者からの出荷量が減少しているため。	C	【(株)なの工房】 (課題) ・コロナ禍によりリーダー会が開催されていない。 ・SNSでの情報発信の減少 ・生産者の高齢化、高知市内の直売所への出荷が増えたことによる出荷減 (今後の方向性) ・引き続き生産者に対し、より多くの出荷を働きかける。 ・リーダー会の実施 (R5.1~) 【畑の食堂Copan】 (成果) ・イベント等でのキッチントレーラーの活用 (課題) ・ディップソースの取引先の拡大 (今後の方向性) ・取組の継続	【(株)なの工房】 1 組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み ・(株)なの工房株主総会の開催 ・リーダー会開催 2 来客増に向けた取り組み ・SNSでの旬の商品の紹介 ・POP、店舗陳列の工夫の実践継続 【畑の食堂Copan】 1 来客増に向けた取り組み ・旬の農産物を使ったメニュー・加工品の提供 ・SNSを活用した情報発信の継続 ・ディップソースの取引先の拡大
			R3	1億3,740万円	1億532万円	C						
			R4	1億3,740万円								
			R5	1億3,740万円								
農業	6「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み (南国市) 【実施主体】 ◎・企業組合ごめんシャモ研究会 ・南国市商工会 ・南国市	売上高 5,178万円 (H30)	R2	5,506万円	2,140万円	D	1 ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立 ・飼育方法の見直し・改善等による生産体制の強化 ・地元高校等、教育機関と連携した飼育の実施 2 加工品開発及びご当地グルメとしての確立 ・各種イベントへの参加等によるPR 3 組織の強化 ・定例会における協議 (組織運営・販売戦略・生産体制等)	1 ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立 ・飼育記録の収集・蓄積 ・高知農業高校と連携した孵卵 ・孵化率 (対受精卵) (12月末) : 76.3% ・家畜保健衛生所による飼育技術の向上に向けた現地指導 (9/1) ・専門家によるネズミ対策に係る現地指導 (11/30) 2 加工品開発及びご当地グルメとしての確立 ・ギフト販売 (11月末) : 483セット ・地産地消・ごめんの軽トラ市への出店 (7/17、10/30) ・フェスティバル土佐第51回ふるさとまつりへの出店 (11/11・13) ・ものがわフェスタへの出店 (11/13) ・第13回長宗我部フェスへの出店 (11/19) 3 組織の強化 ・定例会における協議 (12月末) : 9回	2,662万円 (11月末) ・R4目標達成率 : 68.4% コロナ禍を踏まえた生産調整の実施による出荷量の減 ・対前年同期比 : 194.8% 新型コロナウイルス感染対策に係る行動制限緩和等による直営店「軍鶏伝」の売上増及び飲食店からの発注増	D	(成果) ・生産データの整理により、受精率、孵化率、出荷率等の見える化が図られた。 ・R3年度の鳥獣被害対策 (監視カメラの設置、罠の設置) の実施によりイタチ等の被害はほぼなくなった。 (課題) ・生産量の回復 (今後の方向性) ・専門家等の助言・指導による増産に向けた飼育技術の向上 (孵化率の向上、雛の死亡率の低下)	1 ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立 ・飼育方法の見直し・改善等による生産体制の強化 ・地元高校等、教育機関と連携した飼育の実施 2 加工品開発及びご当地グルメとしての確立 ・各種イベントへの参加等によるPR 3 組織の強化 ・定例会における協議 (組織運営・販売戦略・生産体制等)
			R3	5,670万円	1,974万円	D						
			R4	5,835万円								
			R5	6,000万円								
			R2	2,604羽	1,638羽	D						
		飼育羽数 2,341羽 (H30)	R3	2,736羽	1,062羽	D						
			R4	2,868羽								
			R5	3,000羽								
												967羽 (12月末) ・R4目標達成率 : 45.0% コロナ禍を踏まえた生産調整の実施による出荷量の減 ・対前年同期比 : 125.9% 前年まで調整していた生産量を徐々に回復させているため

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画 (案)
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
林業	7物部川地域の民有林における原木の増産(物部川地域全域) 【実施主体】 ◎・香美森林組合◎・物部森林組合 ◎・林業事業体等	原木生産量 50,678m ³ (H30)	R2	53,300m ³	43,670m ³	C	1 事業地の拡大 ・森の工場の継続・新規拡大 ・森林経営管理制度による事業地の拡大 2 生産性の向上 ・生産性の高い作業システム活用促進 3 担い手の確保 ・事業管理を担当する職員の確保	1 事業地の拡大(12月末) ・森の工場の継続更新・拡大 【香美森林組合】173.66ha(香美市)、116.28ha(香南市) ・森の工場の新規拡大 【香美森林組合】32.29ha(香美市) 2 生産性の向上 【香美森林組合】 ・マックスワルド搬器(R2導入) ・功程調査実施(R5.1月) 3 担い手の確保 【香美森林組合】 ・プランナー認定一次試験:6月末受験	21,153m ³ (9月末) ・R4目標達成率:76.5% ・対前年同期比:88.8% 昨年度から他地域での施業が増加したことなどから本地域の生産量は減となっている。	C	(成果) 【香美森林組合】 ・森の工場の継続更新・拡大、新規認定により事業地が拡大した。 (課題) ・素材生産量の確保に向けた事業地の確保 ・高性能機械導入(R5導入を検討中)等による生産性向上のさらなる推進 ・林業従事者の確保 (今後の方向性) ・高性能林業機械を計画的に導入して生産性の向上を図る。	1 事業地の拡大 ・森の工場の継続・新規拡大 ・森林経営管理制度による事業地の拡大 2 生産性の向上 ・生産性の高い作業システム活用促進 3 担い手の確保 ・事業管理を担当する職員の確保
			R3	53,700m ³	45,342m ³	C						
			R4	55,300m ³								
			R5	56,880m ³								
漁業	8シイラ等の水産物加工による外商の拡大(香南市) 【実施主体】 ◎・高知県漁業協同組合手結支所 ・香南市 ・(一社)香南市観光協会	水産品の販売額 4,939万円 (H28~30平均)	R2	5,100万円	4,055万円	C	1 販売事業の拡大 ・販路維持・拡大に向けた営業活動 2 販売形態の拡充 ・人員の確保による販売体制の強化 3 認知度の向上 ・知名度向上に向けた情報発信(プロモーション活動)	1 販売事業の拡大 ・県内外の取引先との取引の継続 ・地元給食センターへ食材を販売(11月末):14回 ・新たに3社(地元量販店)との取引を開始(11月末) 2 販売形態の拡充 ・自動真空包装機(R3導入)を活用した商品(冷凍フィレ等)の生産 3 認知度の向上 ・量販店店内での広報によるPRの実施	5,071万円(11月末) ・R4目標達成率:143.5% ・対前年同期比:159.8% 昨年度は全国的な不漁だったため。 本年度は漁獲は復調し、11月末時点の原魚加工量は前年同月累計比で147.2%となっている。	S	(成果) ・自動真空包装機の導入による冷凍可能期間の伸長→買い控えの減 ・新たな取引先の確保(大手量販店の地元店3店) (課題) ・シイラ不漁への備え (今後の方向性) ・販路維持・拡大に向けた営業活動の継続 ・シイラ以外の魚種の販路の拡大	1 販売事業の拡大 ・販路維持・拡大に向けた営業活動 2 販売形態の拡充 ・販売体制の強化 3 認知度の向上 ・知名度向上に向けた情報発信(プロモーション活動)
			R3	5,200万円	3,615万円	D						
			R4	5,300万円								
			R5	5,400万円								
商工業	9高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進(南国市、香南市) 【実施主体】 ◎・井上ワイナリー(株) ・井上石灰工業(株) ・南国市 ・香南市	商品売上高 1,057万円 (H30)	R2	1,503万円	824万円	D	1 栽培面積の拡大 ・県内市町村と連携したほ場の拡大、収量の増大 2 醸造・生産体制の確立 ・醸造所の安定的な運営 ・ブランドオープン(4月) 3 ブランドの確立 ・認知度向上と個人顧客の獲得 4 他の事業者との連携 ・様々なグロスリー商品の開発、販売	1 栽培面積の拡大 ・新たな圃場の確保について、南国市、大豊町、土佐町、大月町にて検討中 2 醸造・生産体制の確立 ・のいち醸造所ブランドオープン(4/29) ・6月中旬〜ワインの欠品あり ・みかんワイン(1,000本)販売再開(7/16) ・契約社員1名、パート1名、アルバイト4人雇用 3 ブランドの確立 ・イベント等の実施 ・乙女の涙の店頭販売会(5/29) ・香南市健康サイクリング(6/5) ・父の日コンサート&copanキッチンカー(6/18・19) 4 他の事業者との連携 ・県外事業者とカレーパンを試作 ・HPIにて圃場を紹介	5,430万円(11月末) ・R4目標達成率:219.4% ・対前年同期比:591.0% 本年4月にのいち醸造所ブランドオープン。 ショップでの販売が好調だったため。	S	(成果) ・4月にのいち醸造所をグランドオープンし、ショップでの売上についても好調であった。 (課題) ・ワイン販売の好調により欠品となる期間があった。 (今後の方向性) ・ほ場の確保に向けて各市町村へのセールス ・新商品ワインの開発 ・他の観光施設とのコラボして観光誘客の推進	1 栽培面積の拡大 ・県内市町村と連携したほ場の拡大、収量の増大 2 醸造・生産体制の確立 ・醸造所の安定的な運営 3 ブランドの確立 ・認知度向上と個人顧客の獲得 4 他の事業者との連携 ・様々なグロスリー商品の開発、販売
			R3	1,404万円	1,466万円	A						
			R4	3,713万円								
			R5	5,912万円								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画 (案)
									R4到達目標に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
商工業	10ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化 (南国市) 【実施主体】 ◎・南国市 ◎・南国市商工会 ◎・(株)海洋堂高知 ・南国市中心市街地振興協議会	エリア内の売上高 11億5,569万円 (R2)	R2	-	11億5,569万円	-	1 中心市街地の賑わい創出 ・中心市街地の賑わいを創出する企画の策定 ・中心市街地振興協議会における計画の進捗管理 2 各種イベントの開催や空き店舗の活用等 ・地域資源を生かしたイベントの実施 (ごめんteteマルシェ、地産地消ごめんの軽トラ市、ごめん・なはり線20周年記念イベント等) 3 拠点施設の整備・運営等 ・定期的なイベントの開催 ・施設への入込客数増に向けた取り組み ・来場者に中心市街地を周遊してもらう仕組みづくり ・ものづくりサポートセンターと海洋堂ホビー館が連携した周遊企画の実施	1 中心市街地の賑わい創出 ・ものづくりアトリエteteワークショップ (4月～) ・南国市中心市街地振興協議会 (5月) ・南国市中心市街地振興協議会WG説明会 (11月) 2 各種イベントの開催や空き店舗の活用等 ・チャレンジショップ事業に関する関係者協議 (4回) ・チャレンジャーの募集、選定 (5月、10月) ・チャレンジショップへの出店 (3名) ・地産地消・ごめん軽トラ市 (7月、10月) 3 拠点施設の整備・運営等 ・ものづくりサポートセンターにおける企画展 (12月末) : 4回・7,819人 ・ものづくりワークショップ (12月末) : 2,465人 ・周遊企画 (7～3月) ・周遊企画オープニングイベント (7月)	-万円	-	(成果) ・拠点施設の入場者数が目標を大幅に上回っており、中心市街地への誘客促進が図られている (課題) ・チャレンジショップの円滑な運営 ・拠点施設入場者の中心市街地への周遊を促す仕組みづくり (今後の方向性) ・より良い中心市街地の周遊促進策の検討 ・商工会による出店者支援、チャレンジショップ運営に係る協議会 (月1回程度開催) による進捗管理 ・ものづくりサポートセンターと海洋堂ホビー館が連携した周遊企画の実施	1 中心市街地の賑わい創出 ・中心市街地の賑わいを創出する企画の策定 ・中心市街地振興協議会における計画の進捗管理 2 各種イベントの開催や空き店舗の活用等 ・地域資源を生かしたイベントの実施 (ごめんteteマルシェ、地産地消ごめんの軽トラ市等) ・空き店舗調査の実施 ・チャレンジショップの円滑な運営 ・チャレンジ期間終了後の出店支援 3 拠点施設の整備・運営等 ・定期的なイベントの開催 ・施設への入込客数増に向けた取り組み ・来場者に中心市街地を周遊してもらう仕組みづくり ・ものづくりサポートセンターと海洋堂ホビー館が連携した周遊企画の実施
			R3	11億8,921万円	13億998万円	S						
			R4	12億2,272万円								
			R5	12億5,624万円								
		新規出店数 0件 (H30)	R2	3件	0件	D						
			R3	6件	0件	D						
			R4	9件								
			R5	12件								
		拠点施設の入場者数 0人 (H30)	R2	-	8,428人	-						
			R3	33,000人	72,765人	S						
			R4	33,000人								
			R5	33,000人								
									5件(12月末) ・R4目標達成率: 55.6% 新規出店に活用できる空き店舗が少ないため。 ・対前年同期比: 皆増	D		3 拠点施設の整備・運営等 ・定期的なイベントの開催 ・施設への入込客数増に向けた取り組み ・来場者に中心市街地を周遊してもらう仕組みづくり ・ものづくりサポートセンターと海洋堂ホビー館が連携した周遊企画の実施

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画 (案)
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
商工業	11ヤ・シイパークを核とする地域の活性化の推進 (香南市) 【実施主体】 ◎・(株)ヤ・シイ ・香南市	加工所兼店舗の売上高 2,687万円 (H30)	R2	5,461万円	1,817万円	D	1 売上アップに向けた取り組みの強化 (1) 内部の体制強化 ・新商品開発 ・アイスバーの生産体制の強化及び生産効率の向上 (2) 店舗の周知 ・イベントへの出店・出品 ・情報発信 ・自主イベントの開催 (3) 外販の強化 ・商談会への出展 ・個別商談による販路拡大 2 ヤ・シイパークを核とした地域の活性化の取り組み (1) パーク整備方針の検討 ・ソフト事業及びソフト事業実施に伴い必要となるハード整備の整理 ・パーク整備関係の予算化 (2) 観光拠点化に向けた運営体制の確立 ・YASU海の駅クラブとの連携やサイクリング事業等によるにぎわいづくり ・ユニバーサルビーチへの取り組み	1 売上アップに向けた取り組みの強化 (1) 内部体制強化 ・新商品開発 しいらんぼう (イベント限定商品として販売) (2) 店舗の周知 ・イベントへの出店・出品：3回 井上ワイナリーでのアイスバー販売 (6月)：2日間 ヤ・シイマリンフェスティバルでのアイスバー、ニラマヒバーガーの販売 (7/17) ヤ・シイの秋祭りでアイスバー、ニラマヒバーガー、しいらんぼうの販売 (11/20) ・情報発信 TVでの放送：1回 BS11「私たち鉄印帳はじめます」の土佐くろしお鉄道スペシャルでアイスバーについて放送 (5/31) 雑誌等への掲載：2回 大和ハウス「okaeri」vol.35 Autumn-Winterへアイスバーの掲載 サニーマート東部観光のチラシへアイスバーの掲載 ・自主イベントの開催 (11月末)：なし (3) 外販の強化 ・商談会への出展：1回 高知県産品商談会 (10/26) 2 ヤ・シイパークを核とした地域の活性化の取り組み (1) パーク整備方針の検討 ・三者協議の開催 (5/19、7/13) ・活性化推進協議会の開催 (7/21) (2) 観光拠点化に向けた運営体制の確立 ・レンタサイクル事業 香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンの実施 (5～7月) ・ユニバーサルビーチへの取り組み ユニバーサルビーチの開催 (7/17、8/13) ※予定していた8/28は新型コロナウイルス感染症対策のため中止 (3) 施設の改修 ・県港湾・海岸課 (9月補正) パークのインクルーシブ設計 ピクニックサイトの屋根整備：3基	1,651万円 (10月末) ・R4目標達成率：51.1% コロナ禍等による売上の減 ・対前年同期比：96.8%	D (成果) ・マナマナの新たなイベント (ウェディング) の実施による店舗売上の増 ・イベント限定の新商品の開発 (課題) ・コロナ禍により大幅減となっている店舗売上の増 ・好調であった昨年度の外販売上の継続 ・人員体制の維持、強化 ・PRの強化 (今後の方向性) ・ランチタイム以外のスイーツなどカフェメニューの強化など、戦略的な魅力ある新メニュー等の開発 ・店舗の効率的な運用の検討	1 売上アップに向けた取り組みの強化 (1) 内部の体制強化 ・新商品開発 ・アイスバーの生産体制の強化 ・店舗の運営体制の維持強化 ・店舗の効率的な運用の検討 (2) 店舗の周知 ・イベントへの出店・出品 ・情報発信 ・自主イベントの開催 (3) 外販の強化 ・商談会への出展 ・個別商談による販路拡大 2 ヤ・シイパークを核とした地域の活性化の取り組み (1) パークの管理・運営 ・適切な維持管理の実施 ・マリンアクティビティなどと連携した観光拠点化の推進 (2) 集客力の向上及び環境整備の検討・実施	
			R3	5,503万円	2,237万円	D						
			R4	5,544万円								
			R5	5,587万円								
			「道の駅やす」入込客数 28.6万人 (R元) ※1～12月	R2	28.9万人	26.8万人	B	2 ヤ・シイパークを核とした地域の活性化の取り組み (1) パーク整備方針の検討 ・三者協議の開催 (5/19、7/13) ・活性化推進協議会の開催 (7/21) (2) 観光拠点化に向けた運営体制の確立 ・レンタサイクル事業 香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンの実施 (5～7月) ・ユニバーサルビーチへの取り組み ユニバーサルビーチの開催 (7/17、8/13) ※予定していた8/28は新型コロナウイルス感染症対策のため中止 (3) 施設の改修 ・県港湾・海岸課 (9月補正) パークのインクルーシブ設計 ピクニックサイトの屋根整備：3基	23.7万人 (1～11月) ・R4目標達成率：87.7% ・対前年同期比：100.4%	B (成果) ・パーク整備の方針について関係機関で協議を重ねた結果、多様な観光客を受け入れるためのパークのインクルーシブ化を図る方向での検討が進んでいる。 (課題) ・パーク運営体制の強化 ・空き店舗の解消、レンタサイクルの活用 ・多様な観光客を受け入れるための環境整備 (今後の方向性) ・デジタル化等による運営効率化の検討 ・商業施設のPR、連携の強化 ・ヤ・シイパーク全体のインクルーシブ化に向け、ユニバーサルデザインに配慮した整備に係る設計・検討	(2) 集客力の向上及び環境整備の検討・実施 ・集客のためのソフト事業の検討・実施 ・他団体が実施するソフト事業の受け入れ ・多様な観光客を受け入れるための運営体制の確立 ・レンタサイクルやピクニックサイト等を活用した観光拠点化の推進 ・多様な観光客を受け入れるための環境整備	
		R3		29.2万人	25.7万人	B						
		R4		29.5万人								
		R5		29.8万人								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画(案)
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
商工業	12香南市における特産品づくりと販売の促進(香南市) 【実施主体】 ◎・(一社)香南市観光協会 ・香南市内の事業者 ・香南市	物産品の売上高 1億1,975万円(H30)	R2	1億940万円	1億6,966万円	S	1 地場産品の開発、販売促進 ・新規参加事業所増の取組 ・取扱商品増の取組 ・季節商品の取組 2 地場産品のPR ・ECサイトの効果的な運用 ・イベントでの特産品販売・PR ・新ギフトカタログ発行 ・ふるさと納税のカタログ発行	1 地場産品の開発、販売促進 <カタログ・WEBサイト販売> ○新商品：9商品 <ふるさと応援寄附金> ○新規参加事業者：5事業者 ○新商品：33商品 2 地場産品のPR <カタログ・WEBサイト販売> ○ECサイトの効果的な運用 3月末にリニューアル。4月末に全ての商品を掲載完了。 ○イベントでの特産品販売・PR：10回 ○新ギフトカタログ発行 15,000部(11月) <ふるさと納税> ○ECサイトの効果的な運用 ふるさと納税掲載サイトの増。 R3まで：ふるさとチョイス、楽天、ふるなび、auPay、香南日和 R4～：さとふる(4月～)、JAL(6月～)、ANA(8月～)、セゾンふるさと納税(11月～) 楽天、JAL、ANAサイト対象で、ページ作成、返礼品開発、SEO対策などを業者委託。楽天のみ月2～3回のメルマガ配信も開始。(4月～)	5,276万円(11月末) ・対前年同期比：93.2%	達成度(※) -	(成果) ・コロナ禍の中でも感染防止対策を行い、イベントに積極的に参加し、特産品のPRを行った。 ・ECサイトのリニューアル、商品掲載が完了した。 ・ふるさと納税の掲載サイト増や、ページ作成等を業者に委託し、見やすさの改善等を行った。 (課題) ・特産品(カタログ商品)の認知度向上 (今後の方向性) ・広報の強化	1 地場産品の開発、販売促進 ・新規参加事業所増の取組 ・取扱商品増の取組 ・季節商品の取組 2 地場産品のPR ・ECサイトの効果的な運用 ・イベントでの特産品販売・PR ・新ギフトカタログ発行 ・ふるさと納税のカタログ発行
			R3	1億1,460万円	1億1,016万円	B						
			R4	1億1,980万円								
			R5	1億2,500万円								
商工業	13野市町中心商店街の振興(香南市) 【実施主体】 ◎・香南市 ◎・香南市商工会	空き店舗等を活用した新規開業数 0件(H30)	R2	2件	0件	D	1 空き店舗対策 ・空き店舗対策事業費補助金の周知 ・事業承継に関する情報発信 ・空き店舗実態調査の実施(4～12月) ・空き店舗のリスト化(12月) ・空き店舗情報の周知(12月～) 2 運営体制の確立 ・中心市街地活性化協議会の開催(7月、10月、11月) ・ワーキンググループの開催(7～11月に計5回) ・中心市街地活性化計画の策定(11月)	1 空き店舗対策 ・空き店舗対策事業費補助金の周知 金融機関に対する説明を実施(4/11) 補助金を利用した新規開業1件 野市：弁当屋(9月) ・事業承継に関する情報発信 香南市広報に事業承継引継ぎ支援センターの情報を掲載(7月) 2 運営体制の確立 ・中心市街地活性化協議会立ち上げに向けた打合せ(市、県経営支援課、物部川地域本部)(5/17) ・WG、協議会に向けた事前打合せ(7/6、8/16、9/6、9/28、10/12、10/26、11/1、11/15) ・第1回～第3回中心市街地活性化協議会(7/1、10/26、11/29) ・第1回～第5回WG(8/3、8/24、9/14、10/5、11/9) ⇒中心市街地活性化計画の策定(11/29)	1件(11月末) ・R4目標達成率：16.7% R2年度以降、コロナ禍で新規開業数自体が少ない状況となっていると思われる。 ・対前年同期比：皆増	(成果) ・香南市中心市街地活性化計画が策定された。 (課題) ・アクションプランの実施主体が未決定 (今後の方向性) ・アクションプランの実行に向け、まずは実施主体を決定した上で、各アクションプランのスケジュール等を再確認し、来年度に繋げる。	1 空き店舗対策 ・空き店舗情報、事業承継支援等についての情報発信 ・補助金による改修の促進 ・空き店舗を活用した事務系企業誘致の促進 2 運営体制の確立 ・地域事業者と連携したアクションプランの推進 ・商店街等振興計画推進事業費補助金による支援	
			R3	4件	0件	D						
			R4	6件								
			R5	8件								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画 (案)
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
商工業	14香美市における特産品づくりと販売の促進(香美市) 【実施主体】 ◎・(一社)香美市観光協会 ・香美市内の事業者 ・香美市	特産品の売上高 6,380万円(取り扱い開始からH30までの平均)	R2	6,690万円	6,164万円	B	1 特産品の開発 ・6次産業化セミナー参加 ・各施策を活用した特産品開発 2 販売促進 ・インターネット販売の取り扱い品目の増大、売上向上 ・ふるさと納税返礼品の取り扱い品目の増大 ・商談会、見本市等への参加 3 経営安定化・後継者育成 ・各種セミナーの受講 ・移住促進。人材確保センターの活用	1 特産品の開発 ・「香美せわし会」6次産業化セミナー受講決定(6/30) ・「香美せわし会」6次産業化セミナー受講(5回 7/7、8/7、9/15、10/26、11/18) ・ものづくり会議企画から始まった「高系芋焼酎神池」の第2期分(706本)の販売開始(6/4～) 2 販売促進 ・美良布集活Cにろうまいこ部会企画「かるかん」の高知の日曜日販売(4/10、6/12) ・にろうまいこ部会金高堂前での特産品販売会(10/30) ・美良布集活Cおしゃべり倶楽部企画「野草摘み体験」イベント開催(4/23) ・美良布集活Cおしゃべり倶楽部企画「わたしの野草茶」高知龍馬空港での特設販売開催(5/7～8)継続販売開始(5/7～) ・美良布集活Cむすぶ企画「びらふマルシェ」開催(6/19、10/9) ・「ANAに乗って高知家応援キャンペーン」での商品(和のハーブシロップ)取扱(11/18～) ・奥ものべ青空市(10/8) 3 経営安定化・後継者育成 ・美良布集活Cむすぶ企画「てしごとサロン」開催(5/28)	2,069万円(11月末)	-	(成果) R4.11末時点売上高 香美ばざー 582,450円 21品目 ふるさと納税 20,096,100円 350品目 くじらナイフ(歴史民俗資料館) 12,500円 (課題) ・香美市サイトへのアクセス数増加 ・ふるさと納税返礼品登録事業者の増加 ・目玉商品の開発 (今後の方向性) ・ふるさと納税ポータルサイトの増大 ・地域特産品の販路拡大	1 特産品の開発 ・6次産業化セミナー参加 ・各施策を活用した特産品開発 2 販売促進 ・インターネット販売の取り扱い品目の増大、売上向上 ・ふるさと納税返礼品の取り扱い品目の増大 ・商談会、見本市等への参加 3 経営安定化・後継者育成 ・各種セミナーの受講 ・移住促進。人材確保センターの活用
			R3	7,000万円	5,049万円	C						
			R4	7,300万円								
			R5	7,600万円								
		取扱商品数 194品目(H30)	R2	196品目	214品目	A	371品目(11月末) ・R4目標達成率:186.4% ・対前年同期比:151.4%(12月末と比較) 委託業者による特産品の掘り起こしが好調なため。	S				
			R3	198品目	246品目	S						
			R4	199品目								
			R5	200品目								
商工業	15香美市の伝統産業(土佐打刃物、フアフ)の振興(香美市) 【実施主体】 ◎・高知県土佐打刃物連合協同組合 ◎・フアフ製造業者 ・香美市商工会 ・(一社)香美市観光協会 ・香美市	創生塾入塾者数 3名(R元)	R2	3名	3名	A	1 人材育成 ・鍛冶屋創生塾における2期生の育成(通年)及び3期生の募集(9月～12月) ・鍛冶屋創生塾卒業生の就業及び研鑽の場の確保 2 伝統的工芸品等の普及及び販売促進、認知度向上 ・土佐打刃物・フアフの普及促進 ・土佐打刃物・フアフの新たな販路開拓	1 人材育成 ・2期生インターン(4月) ・1期生卒業後の進路:新規就業2名、創生塾講師1名(包丁、鉋、鎌の製造) ・金属熱処理技能検定試験受験 2級4名、3級1名が合格(1名は昨年2級取得済み) ・3期生の募集開始(9～12月) 2 伝統工芸品等の普及及び販売促進、認知度向上 <フアフ> ・市内各所でのフアフの掲揚(4～5月) ・広報誌への掲載:2回 ・県立施設等での展示(常設:2箇所期間限定:2箇所) ・フアフエコバックの展示(R3.3月～継続中市役所1F) ・土佐山田フアフのある風景フォトコンテストの実施(応募45作品)(4～5月)、表彰式(7月) ・香美市ものづくり会議 フアフ分科会(6月)、本会議(8月) ・ものづくり総合技術展での展示(11月) <土佐打刃物> ・ふるさと納税返礼品取り扱いによる販売促進:刃物97件、寄付額3,303千円(4～11月) ・刃物まつりでの土佐打刃物の販売及び普及(10月)	6名(12月末)	A	(成果) ・入塾生(1期生、2期生各3名)の確保ができた。 ・1期生(3名)のうち、2名は新規就業者。1名は創生塾講師補助。 (課題) ・鍛冶屋創生塾卒業生の就労先や研鑽の場の確保 ・フアフを活用した新商品の開発 ・土佐打刃物及びフアフの新たな販路開拓	1 人材育成 ・鍛冶屋創生塾における2期生及び3期生の育成 ・鍛冶屋創生塾卒業生の就業及び研鑽の場の確保 2 伝統的工芸品等の普及及び販売促進、認知度向上 ・土佐打刃物・フアフの普及促進 ・土佐打刃物・フアフの新たな販路開拓
			R3	6名	6名	A						
			R4	6名	6名	A						
			R5	9名								
		新規就業者数 0名(R元)	R2	0名	0名	-	2名(12月末) ・R4目標達成率:100.0% ・対前年同期比:100.0%	A				
			R3	2名	2名	A						
			R4	2名	2名	A						
			R5	4名								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画(案)
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
商工業	16土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化(香美市) 【実施主体】 ◎・えびす街協同組合 ・香美市商工会 ・香美市	空き店舗を活用した新規開業数3件(H30)	R2	4件	4件	A	1 商店街を含む地域の活性化策の推進 (1) 空き店舗調査の実施 (2) 「ふらっと中町チャレンジショップ」の運営、チャレンジャーの獲得及び支援 (3) 空き店舗を活用した新規開業支援、香美市中心商店街活性化計画の見直し(9月)	1 商店街を含む地域の活性化策の推進 (1) 空き店舗調査の実施 ・空き店舗調査の実施(3日/週) ・空き店舗の情報収集・情報提供:16件(11月末) (2) 「ふらっと中町チャレンジショップ」の運営 ・チャレンジショップ運営委員会の開催:8回(12月末) ※9月の運営委員会はコロナ対応により中止 ・SNS等による情報発信(出店者の確保やイベント情報の発信) ・チャレンジャーへの経営指導、アドバイス(商工会) ・香美市商店街等振興計画推進事業費補助金(チャレンジショップ事業)(香美市) (3) 空き店舗を活用した新規開業支援 ・香美市商工観光振興事業費補助金(空き店舗等利活用助成事業)交付決定(市→商工会) ・開業時のアドバイスの実施(商工会):13名(相談件数39件)(11月末) ・香美市中心商店街活性化計画の見直しWGの開催(9月)、協議会の開催(11月)	7件(11月末) ・R4目標達成率:58.3% 空き物件が少なく、出店の相談はあったが、相談者の希望にあう空き物件がなかったため。 ・対前年同期比:116.7%	D	(成果) ・ふらっと中町の運営に係る人員として継続した雇用創出につながった。(1名) ・常時1店舗はチャレンジショップが出店しており、ふらっと中町の利用者が増えた。 ・香美市中心商店街活性化計画の見直しを行った (課題) ・空き物件が少なく、駐車場も少ないためチャレンジショップ卒業後の市内での開業が難しい。 ・チャレンジショップ出店者の獲得。 (今後の方向性) ・香美市内での開業に向けた物件探しを支援する。 ・チラシやSNSで継続して情報発信をする。 ・見直した計画に従って関係機関と連携して事業を進める。	1 商店街を含む地域の活性化策の推進 (1) 空き店舗調査の実施 (2) 「ふらっと中町チャレンジショップ」の運営、チャレンジャーの獲得及び支援 (3) 空き店舗を活用した新規開業支援、香美市中心商店街活性化計画の推進
			R3	8件	6件	C						
			R4	12件								
			R5	16件								
商工業	17香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売(香美市) 【実施主体】 ◎・(同)高知カンパニー ・香美市商工会 ・香美市	クラフトビールの売上高1,805万円(H30)	R2	2,500万円	3,210万円	S	1 生産体制の構築 ・建築、設備整備の進捗管理 ・増産体制の確立(4月~12月) ・雇用の創出(4月~12月) 2 積極的な地産外商の推進 ・戦略的なPR、フェアやイベントへの積極的な出店、ブランドの確立 ・新たな商品開発 ・新工場の県版HACCPの認証取得 ・新工場を活用したPRイベントの実施(R5.1月) 3 地元商店街のにぎわい創出 ・地元イベントへの出店、商店街との連携 ・地域食材を活用したご当地グルメ	1 生産体制の構築 ・国庫補助を活用した増産に向けた新工場の整備施設整備完了 試験稼働:R4.12.24 本格稼働:R5.4月予定 <クラウドファンディングの活用> 支援募集期間:10~12月 支援金額:723万円(最終)※目標達成 敷地内整備等に活用予定 2 積極的な地産外商の推進 ・商品内訳(R4年度の販売商品)(11月末):定番5品、季節限定4品、地域限定6品 ・フェアやイベントへの出店:5回(香美市2回、高知市2回、オンラインイベント1回) 3 地元商店街のにぎわい創出 ・香美バルへの出店(香美市10月)	2,652万円(11月末) ・R4目標達成率:113.6% 積極的な限定商品の開発等により、インターネット販売が好調であるため ・対前年同期比:95.1%	S	(成果) ・イベントへの出店等により新規顧客の確保につなげており、目標を上回る販売額が達成できている。 (課題) ・工場移転に向けたスケジュール管理 ・生産体制強化 (今後の方向性) ・市、商工会等と連携し移転支援を進める。 ・活用可能な補助金情報、イベント情報など、各支援策の紹介	1 生産体制の構築 ・増産体制の確立 ・雇用の創出 2 積極的な地産外商の推進 ・戦略的なPR、フェアやイベントへの積極的な出店、ブランドの確立 ・新たな商品開発 ・新工場の県版HACCPの認証取得 ・新工場を活用したPRイベントの実施 3 地元商店街のにぎわい創出 ・地元イベントへの出店、商店街との連携 ・地域食材を活用したご当地グルメ
			R3	3,000万円	4,032万円	S						
			R4	3,500万円								
			R5	4,100万円								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画(案)
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
観光	18物部川地域における広域観光の推進(物部川地域全域) 【実施主体】 ◎・(一社)物部川DMO協議会 ・南国市 ・香南市 ・香美市 ・(一社)南国市観光協会 ・(一社)香南市観光協会 ・(一社)香美市観光協会 ・(株)ものべみらい ・観光事業者	主要観光施設入込数 (9施設) 70.7万人 (H30)	R2	77.7万人	46.1万人	D	1 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ・滞在型観光プラン整備計画の磨き上げ及び滞在型観光プランの策定 ・エリア内観光関係施設でのアンケート調査 ・観光振興に関するトップ意見交換会(8月) 2 観光商品の充実、観光客の広域誘致 ・土佐の観光創生塾による旅行商品の造成・磨き上げ ・商談会への参加 ・教育旅行セールスへの参加 3 地域連携による周遊促進 ・SSS認証制度に基づいた受入体制づくり 4 物部川地域の観光に携わる人材の育成 ・研修への参加 ・県事業を活用したワークショップへの参加	1 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ・滞在型観光プランの磨き上げ キックオフミーティング(7/1) ・エリア内観光関係施設でのアンケート調査のいち動物公園(4/29) ・「ものべん」商標登録(4/28) ・デジタルデータを活用した観光戦略の策定 高知県デジタルデータ活用事業説明会(6/22) ワークショップ: 4回 ・観光振興に関する3市長意見交換会(8/18) 2 観光商品の充実、観光客の広域誘致 ・教育旅行セールスの実施 岡山、広島、大阪、神戸、奈良(訪問件数:25社) 商談会への参加 広島、大阪 計6回 ・ツーリズムEXPOへの出展(8/22~25) 東京ビッグサイト ・高知新港クルーズ船での物販(10/5) ・観光庁ワーケーション推進事業の受託 企業とのマッチング: 1社(東京) ・「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」(観光庁)を活用したピーガンハラルメニューの開発 ・高知まんなか移住ツアーの実施(10/21、22) ・東アジア向けインバウンド商談会in四国2022(11/2) ・クルーズ船商談会(11/8) ・高知新聞観光柚子ツアー(11/8) ・長宗我部フェス(11/19) 3 地域連携による周遊促進 ・教育旅行アテンド: 2校(受入先) 南国市掩体塚(5/20) ユニバーサルビーチ(9/9) ・南国ICわくわくゾーンスタンプラリー(4/16~11/23) ・ものべSSS(コロナ対策)認証施設: 28施設(7/31時点) ・JR観光列車のおもてなし(10月~4回) ・ものべがわフェスタ(11/13) 来訪者: 1,039人 4 物部川地域の観光に携わる人材の育成 ・広域担当者会(4/28) ・物部川フェスタ担当者会 5回 ・インバウンドセミナー(9/20) ・ユニバーサル事業に係る先進地視察 2回 兵庫県向島	43.0万人(10月末) 主要観光施設入込数(9施設) ・R4目標達成率: 86.4% 対前年同期比: 113.0% 昨年度はコロナ禍の影響により、十分な集客につながらなかったため	B	(成果) ・物部川地域3市の行政機関、関係機関が役割分担の明確化を図り協働することによる連携体制の整備及び運用を進めている ・関係部署との情報共有等によるPR (課題) ・持続的な広域観光の推進 (今後の方向性) ・事務局体制の強化 ・デジタルデータを活用した周遊促進策の策定	1 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ・デジタルデータを活用した滞在型観光プラン整備計画の磨き上げ及び滞在型観光プランの策定 ・エリア内観光関係施設でのアンケート調査 ・観光振興に関する3市長意見交換会 2 観光商品の充実、観光客の広域誘致 ・土佐の観光創生塾による旅行商品の造成・磨き上げ ・商談会への参加 ・教育旅行セールスへの参加 ・ユニバーサルツーリズムの推進 ・ものべSSS認証制度の推進 3 地域連携による周遊促進 ・SSS認証制度に基づいた受入体制づくり ・東部自動車道間の閑散化防止策の策定 ・体験型観光を取り入れた誘客イベントの開催 ・エリア内パンフレットの印刷 4 物部川地域の観光に携わる人材の育成 ・研修への参加 ・県事業を活用したワークショップへの参加
			R3	81.5万人	58.6万人	C						
			R4	85.5万人								
			R5	89.8万人								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】
	項目名及び実施主体	指標及び 出发点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画 (案)
									R4到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
観光	19南国市の地域資源を活用した観光の推進 (南国市) 【実施主体】 ◎・(一社)南国市観光協会 ・南国市 ・南国市観光クラスター連絡協議会 ・市内各観光に関わる企業・団体・グループ ※地域産業クラスター関連 (南国市農業クラスタープロジェクト)	主要観光施設 設入込数 46.9万人 (H30) ※1～12月	R2	50.8万人	29.2万人	D	1 観光の推進 ・観光メニューづくり・ブラッシュアップ 2 観光協会の体制強化 ・新規会員の掘り起こし	1 観光の推進 ・岡豊山さくらまつり (4月) ・地産地消・ごめん軽トラ市 2回 (7月、10月) ・周遊企画 (7～3月) ・周遊企画オープニングイベント (7月) ・もっと草花を楽しむ講座 (導入編) 受講 (6月) ・南国市観光施設連絡会 (9月) ・高知家プロモーション関西への参加 (11月) ・移動販売車を活用したイベント出店による観光、特産品のPR (11月末) : 5回 2 観光協会の体制強化 ・新規会員の確保 (11月末) : 新規3人	48.4万人 (1～12月) ・R4目標達成率 : 90.3% ・対前年同期比 : 124.7% ※西島園芸団地については、R2.8月に入込数の数え方を見直し	B (成果) ・オンライン販売により、体験プランの申込・対応がスムーズになった ・新たなガイドの確保が進みつつある ・ものづくりサポートセンター隣接広場に 出店することで、多くの県内外観光客への 観光情報発信ができた (課題) ・コロナ禍の影響による未実施分のガイド 養成講座への対応 ・コロナ禍の影響による集客が見込める イベント中止に伴う移動販売車を活用 したPR不足 (今後の方向性) ・次年度当初に未実施分のガイド養成 講座を開催 ・イベント以外の集客力のある催事等への 移動販売車による出店の検討	1 観光の推進 ・観光メニューづくり・ブラッシュアップ ・観光案内人の実践、研修 (モニター ツアーの実施等) ・移動販売車を用いた観光、特産品の PR ・観光施設連絡会の開催 2 観光協会の体制強化 ・新規会員の掘り起こし	
			R3	52.2万人	38.8万人	C						
			R4	53.6万人	48.4万人	B						
			R5	55.0万人								
観光	20南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進 (南国市) 【実施主体】 ◎・(株)西島園芸団地 ・南国市 ・(一社)南国市観光協会 ・(一社)物部川DMO協議会 ・南国市観光施設連絡会	観光客入込 数 106,191 人 (R元) ※1～12月	R2	-	64,789人	-	1 体制強化 ・OJTによる人材の確保・育成 (通 年) ・SWOT分析を踏まえた事業計画の策 定 (4～9月) 2 全体コンセプトの構成とブランディ ング ・アドバイザーによるアドバイス (4～5 月) ・アドバイスを踏まえたレイアウト変更 (6 ～9月) 3 新商品の開発 ・各種商談会への参加 ・自社加工場の県版HACCP対応 ・新商品開発に向けた協議	1 体制強化 ・OJTによる人材の確保・育成 (通年) 2 全体コンセプトの構成とブランディ ング ・レイアウト変更等に係るアドバイザーの活用 (6/17) ・中央東農業振興センター等による栽培調査の実施 (6/8) ・SWOT分析の項目に栽培面を追加 (6/21) ・アドバイザーによるマーケティング戦略に関する指導 (11/22) 3 新商品の開発 ・株式会社マーク (おらんく家等運営) と連携した新商品 (ブ リスパフェ) の販売 (6月～) ・加工場のHACCP対応 (今年度中に実施) ・カフェの新メニュー開発・販売 (9月～ブドウパフェ・バンケーキ) ・自社のイチゴを活用した新商品開発に向けた検討 4 その他 ・既存商品のブラッシュアップ ・TV番組によるPR 「爆買い☆スター恩返し3時間SP」(三山ひろし出演 (5月) 「出川哲朗の充電させてもらえませんか？」(5月) ・GW集客対策 フルーツ&ケーキキョウフエ (4/29～5/5) ・インバウンド視察受入 (10月台湾、香港、マレーシア) ・BMW販売促進イベントへの採用 ・サマー・キャンペーンプレゼント商品 (6下旬～8/30) ・スタンプリースポット (11初旬～12/25) ・ふるさと納税本「ふるさと納税ニッポン! (2022-23 冬春号 芸文社) への掲載	120,023人(1～12月) ・R4目標達成率 : 150.0% ・対前年同期比 : 129.4% 3億4,372万円 ・R4目標達成率 : 100.2% ・対前年同期比 : 111.3%	S (成果) ・新型コロナの行動規制緩和による来園 者増に加え、既存店頭販売商品のブ ラッシュアップ (フルーツ券で通常提供す るメロン・スイカに加え、季節に応じたイチ ゴ、赤肉メロンなどのフルーツを試食的に 提供) により、フルーツ券の売上が伸び ている (8～10月対前年同期比 138.6%) とともに、フルーツの販売促 進につながった。 ・新型コロナの行動規制緩和による来園 者増に加え、5月にテレビ番組で取り上 げられたことにより、例年来園者が減少 するGW以降も来園者が多く、5月・6月 の売上が伸びた (対前年同期比 139.9%) ・産業振興アドバイザー制度の活用によ り、ブランド力の強化等個別課題の改善 により、売上が伸びた。また、SWOT分 析等により自社の経営資源・課題を把握 することができ、今後のマーケティング 戦略の展開に向けた方向性を持つこと ができた。 (課題) ・メロンの需要が高い時期 (6～7月お 中元シーズン) の自社メロンの不足 (今後の方向性) ・栽培部、観光部の協議による需要に 応じたメロン栽培 ・事業計画策定の支援を引き続き行っ ていく。	1 体制強化 ・事業計画の策定及び実施 ・OJTによる人材の確保・育成 (通 年) 2 全体コンセプトの構成とブランディ ング ・施設改修の継続実施 3 販路拡大 ・関連事業者との商品開発 ・新たな取引先の開拓	
			R3	60,000人	95,852人	S						
			R4	80,000人	120,023人	S						
			R5	100,000人								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】						
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画 (案)					
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析						
観光	21香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進 (香南市) 【実施主体】 ◎・(一社)香南市観光協会 ・香南市 ・地域の体験メニュー等提供団体	主要観光施設入込数 106,0万人 (H30) ※1～12月	R2	107万人	90.7万人	C	1 旅行商品の造成と販売 ・体験メニューの掘り起こし、磨き上げ ・エージェントへのプロモーション活動、キャラバンへの参加 ・香南市観光施設連絡会の開催 2 地域の観光情報の発信 ・ホームページ、SNS、OTA等を活用した情報発信 ・地域の特産品やグルメ情報の発信 ・地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供 ・市ポータルサイト等での情報発信 3 スポーツ・体験観光の推進 ・自転車を通じた観光客誘致と、香南市のPR、市内飲食店等の収入増につながるサイクルイベント・大会の実施 ・県内外へのサイクルイベントへの出展 (8月、3月) ・レンタサイクル乗り捨て実証実験の実施 4 サイクリングロードの整備、サイクリストのための環境整備 ・自転車活用推進計画策定委員会の開催 ・サイクルサポーター制度の確立 ・サイクルマップ中・上級者編の作成 (1月) ・香南市民へのヘルメット購入補助金申請受付開始 (5月)	1 旅行商品の造成と販売 ・体験メニューの掘り起こし、磨き上げ 土佐塩の道うおーくの開催 (5/28) 第11回土佐塩の道トレイルランニングレース 2022FINAL(10/2) 高知新聞観光へ土佐の高知のくだもの畑のみかん狩りを提案 ⇒10/29「のいち動物公園とみかん狩り」開催 (24名参加) あぐりのさとで26名分の弁当を手配 ・香南市観光施設連絡会の開催 (10/27、12/23) 2 地域観光情報の発信 ・ホームページ、SNS、OTA等を活用した情報発信 観光協会HP、instagram、Facebook、LINE、YouTubeの運用 ⇒Facebook・Instagram有料広告掲載 香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン (7/5～13) 香南いこいこキャンペーン延長 (12/8～1/15) 高知イーブックス ⇒香南市観光ガイドマップ等の内容差し替え。 観光・イベント情報に香南市の観光キャンペーン等の情報を掲載 外国人向け観光情報サイト「VisitKochiJapan」 ⇒Facebookに、手結港可動橋 (4/25) YASU海の駅クラブ (7/15) の写真提供・内容確認 ・地域の特産品やグルメ情報の発信 リョーマの休日キャンペーン推進委員会土佐井王国 ⇒和風Café豊楽の「香南ニラ玉あんかけ丼」を掲載 龍馬バスポート香南ニラ塩焼きそば「レアスタンプ」企画 ⇒廣末屋、すし正、和風Café豊楽、レストランカラズが参加 ・地域の特産品を活用したメニューの提供 (16回) ・地域の特産品を活用したメニュー開発 (2件) ニラ玉あんかけ丼 (和風Café豊楽) ニラソーセージ (おきゃんぴー農園) 3 スポーツ・体験観光の推進 ・自転車を通じた観光客誘致 香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン (5/1～7/31) ⇒香南市内の対象施設で自転車を借りると、市内で使える500円のクーポン券がもらえるキャンペーン 香南いこいこキャンペーン (4/29～1/31) ⇒香南市内の対象施設の入館料や宿泊料が半額 (最大1000円分まで) になるキャンペーン。レンタサイクルも対象。 ・自転車を通じた香南市のPR 志国土佐時代の夜明けのものがたりおもてなしライドの実施 ⇒実施期間：4/1～6/24、10/7～12/23の金曜日 自転車のまち香南市のPRうちわを作成 ⇒イベントでの配布10回 ・サイクルイベントの開催 香南市健康サイクリング (4/17、5/1、6/5、8/7、10/2、11/6、12/11) : 55名 4 サイクリングロードの整備、サイクリストのための環境整備 ・香南市自転車活用推進計画策定委員会の開催 (7/26) ・香南市自転車用ヘルメット購入費補助金 (5月～受付開始) 11月末時点利用者数 : 15名 ・自転車のまち香南市応援サポーターの募集開始 (10/11～) 11月末時点認定件数 : 1件	86.0万人 (1～10月) ・R4目標達成率 : 90.5% ・対前年同期比 : 110.7%	B	(成果) ・新たな体験メニューの造成に向け、観光協会、エージェント等による打合せ等が行われている。 ・SNS等を使った地域観光情報の発信が行われている。 (課題) ・体験メニュー等の旅行商品の企画・販売 (今後の方向性) ・観光施設関係者による観光素材の磨き上げと商品化	1 旅行商品の造成と販売 ・体験メニューの掘り起こし、磨き上げ ・エージェントへのプロモーション活動、キャラバンへの参加 ・香南市観光施設連絡会の開催 2 地域の観光情報の発信 ・ホームページ、SNS、OTA等を活用した情報発信 ・地域の特産品やグルメ情報の発信 ・地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供 ・市ポータルサイト等での情報発信 3 スポーツ・体験観光の推進 ・自転車を通じた観光客誘致と、香南市のPR、市内飲食店等の収入増につながるサイクルイベント・大会の実施 ・県内外へのサイクルイベントへの出展 (8月、3月)					
			R2	500人	298人	D							55人 (12月末) ・R4目標達成率 : 8.7% コロナ禍による影響の他、サイクリングイベントの実施主体となる団体が不在となったことから、イベントの実施が減少したため。 ・対前年同期比 : 90.2%	D	(成果) ・健康サイクリングは、昨年度コロナ禍の影響で中止となるが多かったが、今年度は感染状況を注視しつつ、感染対策を行いながら実施した。 ・自転車のまち香南市応援サポーターの募集を開始することができた。 (課題) ・コロナ禍に対応したイベント実施 ・サイクルイベント等の主催団体の不在 ・自転車のまち香南市応援サポーターを増やしていくためのPR (今後の方向性) ・関係者間で情報共有を行い、感染状況に応じた対応を検討 ・サイクリングイベント等の実施主体となる団体等の掘り起こしが必要となる ・自転車のまち香南市応援サポーターの増加を図るため、各種イベント等でのPRや市内事業者への協力依頼を行う	・レンタサイクル乗り捨て実証実験の実施 ・香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンの実施 ・志国土佐時代の夜明けのものがたりおもてなしライドの実施 (4～6月、10～12月) 4 サイクリングロードの整備、サイクリストのための環境整備 ・自転車活用推進計画策定委員会の開催 ・サイクルサポーター制度の推進 ・香南市民へのヘルメット購入補助金申請受付 (4月～)	
			R3	720人	181人	D											
			R4	840人													
			R5	960人													

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画(案)
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
観光	22三宝山エリアにおける観光拠点化の推進(物部川) 【実施主体】 ◎・民間事業者 ・香南市	— ※検討状況を踏まえて設定	R2				1 施設整備 ・タウンエリア及びマウンテンエリアの開発設計 ・林地開発工事 2 周辺施設との連携 ・観光施設連絡会への参加	1 施設整備 ・マウンテンエリア：広場整備中 ・タウンエリア：体験施設整備中 2 周辺施設との連携	—		(課題) ・開発設計が定まっていない (今後の方針) ・随時進捗を確認する	1 施設整備 ・タウンエリア及びマウンテンエリアの開発設計 2 周辺施設との連携 ・観光施設連絡会への参加
			R3									
			R4									
			R5									
観光	23香美市における滞在型・体験型観光の推進(香美市) 【実施主体】 ◎・(一社)香美市観光協会 ・香美市 ・(株)香北ふるさとみらい ・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体	主要観光施設入込数 24.5万人(H30) ※1～12月	R2	29.1万人	16.6万人	D	1 体験型観光メニューづくりと推進 ・香美市観光協会における体験メニューの磨き上げ ・観光施設における集客イベントの開催 2 観光協会の組織体制の充実と取り組みの推進 ・「香美市観光ガイドの会」による研修等の実施、観光メニューの運用 ・周辺観光施設と連携したセールス活動の実施 ・HPや広報誌を活用した情報発信	1 体験型観光メニューづくりと推進 ・土佐塩の道30kmウォークの開催(5/28、113人参加) ・巨木・銘木に出会う、香美(神)巡り開始(5/1～) ・香美市おしゃれcafe巡りキャンペーン開始(4/1～) ・香美市に泊まろうキャンペーンVOL.2開始(4/1～) ・土佐塩の道トレイルランニングレースの開催(10/2、233人参加) ・日帰り白髪山登山(10/22) ・香美市星空塾皆既月食観望会(11/8) ・香北の自然公園草花ガイド養成事業(11/24、11/25) 2 観光協会の組織体制の充実と取り組みの推進 ・香美市観光ガイドの会定例会の開催(8回) ・香美市観光ガイドの会/山田高校へのガイド研修(6/13) ・香美市観光ガイドの会/ガイドの実施(10回、34人参加)	19.7万人(1～10月) ・R4目標達成率：79.7% ・対前年同期比：157.6% コロナ禍による入込客数の減の影響はみられるものの、行動制限の緩和等により客足は回復傾向にある。	C	(成果) 新型コロナウイルス感染症対策を行い、イベントを開催することができた。また、香美市観光ガイドの会については、複数回ガイドを行うことができた。 (課題) ガイドの技術向上と、ガイドの利用者数を増やしていく必要がある。 (今後の方向性) イベントを開催する際には、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。また、香美市観光ガイドの会については、草花ガイドが行えるようにガイド研修を行う等の準備をする。	1 体験型観光メニューづくりと推進 ・香美市観光協会における体験メニューの磨き上げ ・観光施設における集客イベントの開催ガイドを行うことができた。 2 観光協会の組織体制の充実と取り組みの推進 ・「香美市観光ガイドの会」による研修等の実施、観光メニューの運用 ・周辺観光施設と連携したセールス活動の実施 ・HPや広報誌を活用した情報発信
			R3	29.4万人	17.0万人	D						
			R4	29.7万人								
			R5	30.0万人								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画(案)
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
観光	24龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進(香美市) 【実施主体】 ◎・(公財)龍河洞保存会 ◎・(株)龍河洞みらい ・龍河洞エリア活性化協議会 ・香美市	観光客入込客数 12.6万人(R元) ※1~12月	R2	13.5万人	7.6万人	D	1 基本計画の推進及び施設等の改修 ・デジタルルーム建設 ・西本洞コースの広報・セールス ・ガイドの確保・育成 2 広報・PR ・旅行代理店や宿泊施設等へのPR 3 集客イベントの開催 ・季節ごとの集客イベントの実施 ・夜間営業の実施	1 基本計画の推進及び施設等の改修 ・デジタルルーム等建設 龍河洞デジタルルーム等整備工事 (R5.3月完成予定) ※名称は龍河洞情報館に決定 愛称は地元小学校児童から募る予定 ・エリア内サイン整備 既存サインの現地確認等 (10/31、11/9、12/2) ・西本洞コースの広報・セールス 今年度ポスターの掲載 (4月中旬～)、メディアへのリリース (4/26)、新聞記事の掲載 (4/30・読売新聞)、テレビ取材 (7/12) R4入込客数 (4/29～10/31) : 152人 ・ガイドの確保・育成 朝礼での意見交換の実施、研究による新たな知見の共有 西本洞運用に関する意見・改善案のアンケート実施 (7～8月) 西本洞運用検討会 (12/14) 2 広報・PR ・旅行代理店や宿泊施設等へのPR テレビCMの放映 : 90回 (4/28～5/5、6/25、7/16～23、8/6～20、9/16～24) 校外学習のPR →四国の小中学校1,191校にパンフレット送付 (4/18)、 教育旅行営業 : 2回 (4/22～21岡山・広島、5/12～13大阪) 観光説明会・商談会への参加 : 4回 (6/13福岡、6/15広島、7/20高知、7/22モニターツアー) 宿泊施設への入洞料割引券 (100円割引) の配布 →高知市、南国、香南、香美エリアの74施設、8,100枚配布 (利用期間 : 7/26～8/31、利用実績 : 528枚) 3 集客イベントの開催 ・季節ごとの集客イベントの実施 龍河洞まつり (10/1) : 652人 (洞内無料開放の入洞者数) 洞内無料開放・花火の打上を実施 ・夜間営業の実施 龍河洞ナイト (1～12月) : 31回 入込客数 : 1,040人	11.3万人 ・R4目標達成率 : 87.0% ・対前年同期比 : 145.2% 行動制限の緩和等により客足は回復傾向にある。	B	(成果) ・行動制限の緩和等により入洞者数は回復しつつあり、R4の入込客数は3年ぶりに11万人を超えた。 (課題) ・周辺観光施設等と連携した広報等の実施 ・人材の確保 (今後の方向性) ・夜間営業、シーズンイベント等の実施による誘客促進 ・教育旅行・校外学習でのさらなる誘客促進 ・出前講座の開催等による大学と連携した情報発信	1 基本計画の推進及び施設等の改修 ・デジタルルームの活用 ・西本洞コースの広報・セールス ・ガイドの確保・育成 2 広報・PR ・旅行代理店や宿泊施設等へのPR 3 集客イベントの開催 ・季節ごとの集客イベントの実施 ・夜間営業の実施
			R3	11.0万人	7.7万人	C						
			R4	13.0万人	11.3万人	B						
			R5	15.0万人								

地域産業クラスタープロジェクトの推進

地域に根差した産業を核として、その周りに様々な産業を集積させる「地域産業クラスター」の形成に取り組むことにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を創出し、若者が地域地域で働き続けられる土壌づくりを目指していきます。クラスター形成を目指す「クラスタープロジェクト」として、18のプロジェクトを位置づけており、その一つひとつに、県、市町村、関係団体等で構成する「プロジェクトチーム」を設置し、プランの策定からその実行までをサポートしていきます。

地域	分野	プロジェクトNo.・名称	取り組み概要（目指す姿）	取り組み状況	
物部川	農業	No.2 南国市農業クラスタープロジェクト	主要農産物であるニラ、シントウ、ピーマン類と「還元野菜」の生産拡大を核に、市内の消費拡大（地産地消）や加工品の開発及び観光などの連携（地産外商）を強化し、「南国野菜」の産業クラスター化を通じて、南国市の特色を生かした「稼げる農業」の実践により、地域活性化に繋げる。	これまでの取り組み（H28～R3）	主要農産物であるシントウ、ニラ、ピーマン類の生産拡大に向けて取り組んでおり、電解水素水を活用した収量や機能性向上の実証試験を実施した。また、西島園芸団地が自社の還元野菜・フルーツの販売サイトを設置し、電解水素水を使用した自社商品（メロン・スイカ・マンゴー等）を販売している。 また、プロジェクトの推進に向けて、R3.6.25にクラスタープランの更新を行った。
		関連する地域AP No.2 南国市農業生産拡大プロジェクト No.3 南国市野菜の地産地消・地産外商の拡大による地域農業の活性化 ほか		R4年度の取り組み	【取り組み状況】 シントウ、ニラ、ピーマン類の生産拡大については着実に取り組んでいる。販売分野では、西島園芸団地のサイトでの販売が継続している。また、特にトリムユーザーへの販売が好調に推移している。加工分野では南国野菜を使用した加工品づくりも一定進んでおり、今年度は2品の新商品が開発されている。 【課題と今後の対応】 加工品開発の地域ニーズの掘り起こし、還元野菜以外の野菜を活用した商品開発の促進に取り組む。また、プロジェクトチーム会及び1次、2次、3次WGを開催し、具体的な取り組みを進めていく。
		No.3 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト	日本一の生産量を誇るJA高知県香美地区のニラの生産拡大を目指し、3つの生産拡大プロジェクト（「既存農家の経営安定」、「規模拡大志向農家の支援」、「新規就農者、品目転換農家の支援」）に取り組むとともに、そぐりセンターの活用や、新たな加工品の開発・販売及び地元飲食店でのメニュー開発等によりクラスターの形成を図る。	これまでの取り組み（H28～R3）	生産拡大へ向け、ニラそぐりセンターの整備に向け準備を進めた（R2.4.1から稼働中）。また、ニラを核とした町おこしの推進のため、観光協会や食品会社等との連携による加工品の開発と商品化に取り組んだ。 また、プロジェクトの推進に向けて、R4.3.22にクラスタープランの更新を行った。
		関連する地域AP No.1 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト No.21 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進 ほか		R4年度の取り組み	【取り組み状況】 JA出荷量の拡大に向け、出荷経費の削減・手数料の透明化に取り組んだ。また、R2年度から稼働を開始したニラそぐりセンターの安定稼働に向けて、周年出荷者・JA以外への出荷者等に利用拡大を呼びかけ、受入の拡大に努めた。 また、土佐山田第二集出荷場の建て替えを行い、出荷体制の強化を図った。 【課題と今後の対応】 ニラの生産拡大に向けた新規就農者の受入体制強化とそぐりセンターの安定稼働、ニラの地消・加工の推進とそのためニラの確保に向けてJA等と調整していく。